

浮世絵は、
幕末からが
おもしろい。



歌川芳藤
「八月八日木性の人右卦に入る」(部分) 幕末



歌川芳年「高縄鉄道之図」(部分) 明治

福島県立博物館 令和6年度春の企画展

月岡芳年「風俗三十二相 遊歩がしたきこ」(部分) 明治



大江戸の賑わい

幕
末
明
治
の
浮
世
絵
百
年



三代歌川豊国「石川五右衛門 中村芝翫」(部分) 幕末

歌川芳盛「谷風市蔵」(部分) 幕末

令和6年 4月27日 (土)~6月16日 (日)

会場 福島県立博物館 企画展示室

観覧時間 午前9時30分~午後5時 ※入場は午後4時30分まで
休館日 月曜日(4/29・5/6を除く)および4/30・5/7
主催 福島県立博物館
監修 中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)
企画協力 E.M.I.ネットワーク

観覧料 一般・大学生 1,000円 (20名様以上の団体800円)、高校生以下無料
※企画展料金で常設展もご覧いただけます。
年間パスポート 2,000円
※購入日より1年間、当館主催の常設展・企画展を何回でもご覧頂けます。

浮世絵は、 幕末からが おもしろい。

庶民文化で賑わう江戸末期から文明開化で華やぐ明治までの約100年。浮世絵は多色摺木版画の登場によって世に広まり、庶民に親しまれました。現代を生きる私たちがテレビやインターネットを通して情報を得るように、当時の人々にとって浮世絵は情報を入手するための貴重なツールでした。歌川広重の東海道五十三次で旅行気分を味わい、歌川国芳が描いたヒーローによって歴史や伝説を語り、寄せ絵や風刺絵で社会を知り、人気の歌舞伎役者や力士の浮世絵をプロマイドのように買い求めたのです。浮世絵の文化が花開くと、北斎、広重、英泉、豊国、国貞、国芳、芳年といった天才・奇才の絵師が次々と登場し、素晴らしい作品を生みだしました。今回の展覧会では、鉄道やガス燈、鹿鳴館等の明治風俗も紹介します。浮世絵をとおして、幕末から明治の「浮き世」(当時の現代的な風俗)の世界に飛び込んでみましょう。

三代歌川豊国
「安達多九郎 小幡小平治 小平次女房おつう」(部分) 幕末



歌川広重「東海道五拾三次之内 蒲原(保永堂版)」 幕末



葛飾北斎「諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし」 幕末



小林清親「日本橋夜」 明治

関連イベント

すべて申込不要。解説会以外は無料。

◆講演会「浮世絵の楽しみ方ー絵師や主題に注目して」

5/12(日) 13:30~15:00

講師:藤澤 茜氏 神奈川大学 国際日本学部 准教授
国際浮世絵学会常任理事

講堂 定員先着200名

*浮世絵を読み解く楽しさについてご講演いただきます。

◆ワークショップ「うきよえをぬってみよう in子どもミニミニはくぶつかん」

5/3(金・祝) 10:30~15:30

雪国ものづくり広場「なんだべや」

*無地の浮世絵に色をぬって、あなただけの作品に仕上げよう。

◆歴史講座「浮世絵のくずし字を読んでみよう」

6/9(日) 13:30~14:30

講師:当館学芸員

講堂 定員先着200名

*浮世絵に書かれた文字を読んでみましょう。

◆展示解説会

4/28(日)・5/26(日) 13:30~14:00

6/9(日)14:45~15:15

*当館学芸員による解説会。

企画展観覧券または年間パスポートが必要です。



月岡芳年「羅城門渡邊綱鬼腕斬之図」 明治



歌川国芳「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」 幕末



楊洲周延「秋園菊花の盛」 明治

背景:作者不明「無題(黒船図)」部分 幕末

*作品はすべて中右コレクション



福島県立博物館
Fukushima Museum

開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)

お問い合わせ TEL 0242-28-6000 FAX0242-28-5986

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25

E-MAIL general-museum@fcs.ed.jp

https://general-museum.fcs.ed.jp



■JR会津若松駅から約3km

・タクシーで約10分

・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分
(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分
(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)



車椅子使用者用駐車場

博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台

一般駐車場内博物館入り口側:3台

※ご不明の点はお問合せください。

